

障害福祉の動き

4月スタートの「障害者自立支援法」の施行後の会員からの報告は、通所会員は約1万円前後負担が増えた、入所会員はほぼ前年並み負担、施設は資金繰りと回収手続きに翻弄される等過渡期の課題が山積している。

全般的には「利用料が払えない」と施設を退所する、「ヘルパーの利用を控える」など障害者や家族に深刻な影響が出ている。また、障害者認定区分の評価に問題あり、5月には日比谷公園で決起集会がありました。この様に「障害者自立支援法」の施行後の対応に、行政と一緒に問題の解決討議をする各種委員の派遣を、親の会にも要請されている。

申請している会議に「障害認定区分」の審査会、「障害福祉計画」の推進協議会等がある。

3障害同一施策の方向を模索しながら、各個別課題の対策の折り込みが重要である。



報告事項

[1] 第43回埼玉県手をつなぐ育成会県大会に参加(7月23日、加須、出席：金子、滝上、杉山、梶山)
育成会の功労者表彰に「田沼克彦(前会長)」が表彰されました。大会での体験発表、先駆的に活動してる団体の話を聞くのは参考になり、多くの刺激を受けました。

参考に、埼玉県知事の挨拶、体験発表の文を添付しました。

[2] 市町村キャラバンに参加(8月17日、深谷市コミセン、出席：金子、梶山)

埼玉県障害者協議会の主催で深谷市の障害者団体(29名+市議3名)と深谷市障害福祉部門で協議する。議題は4月スタートの「障害者自立支援法の課題」、10月スタートの「地域生活支援事業」、18年度策定の「障害福祉計画」等の進行状況を聞き、障害者の要望を話した。

今回は精神障害家族会の方が多く参加され、各論が多く寄せられた。如何に課題が多いかが分った。対策は、「障害福祉計画」策定時、障害者団体のメンバーも加えて討議する事になった。



映画前売り券の販売依頼(予告)

「筆子とその愛」のチケットを皆さんに販売頂きます。

鹿鳴館の華から障害児教育・福祉の先駆者として活躍した石井筆子の波瀾万丈の生涯の映画化です。全日本育成会他多くの障害者団体の後援で「現代ぷろだくしょん」が製作します。主演に常盤貴子、市川笑也、加藤剛の豪華メンバーが出演します。育成会の主催上映です。

1. 上映時期 平成19年2月4日(日) AM10:30~12:20

2. 上映場所 籠原・熊谷文化創造館(さくらめいと)

3. 上映券 1,000円(自主上映)...10/初旬から販売

会員一人当たり4枚の販売を考えております(別途相談)

今後の行事予定

1. 深谷市ふれあいスポーツ大会

期日：10月14日(土) 場所：ビッグターム
各施設より、競技エントリーを行います。

2. 深谷市・福祉健康祭り

期日：10月28,29(土、日) 場所：ビッグターム
福祉の市の販売品の確保を昨年と同じ様に
行います。バザー用品の提供をお願いします。



配布物

1. 深谷市手をつなぐ親の会通信#8
2. 県大会の知事挨拶、親子体験発表資料
3. 機関紙「やまびこ」NO.171、172
4. 「福祉の市」バザー協力依頼チラシ

親の会通信は2ヶ月前後に発行します。
情報がありましたら梶山まで連絡下さい。